

材木岩

文字通り「材木の岩」を意味しており、材木岩は、材木を積み重ねたように見えるこの地域の岩層のことである。それらは安山岩でできており、柱状節理により形成された。柱状節理とは、溶岩が冷えて収縮する際に、溶岩の裂け目が大きくなることで形成される地質構造である。柱状節理の他の例としては、北アイルランドのジャイアンツ・コースウェイやインドのデカン・トラップがある。南には、布滝の近くに材木岩があり、北には、材木岩が地下をずっと伸びており、天狗岩の近くの福渡層まで続いている。